

資料1 教育大綱について

- ・新庄市教育大綱については、平成27年10月2日開催の新庄市総合教育会議にて、第4次新庄市振興計画「新庄市まちづくり総合計画」教育部門を新庄市教育大綱に代えることを決定した。
- ・第4次新庄市振興計画「新庄市まちづくり総合計画」は、平成23年度を初年度とし10年間を計画の期間としている。
- ・前期5カ年の最終年度に当たる、平成28年3月に、現状と課題やこれまでの実績を評価・検証し、住民ニーズに対応するため、また、人口減少という大きな課題の克服に向け、策定した「新庄市総合戦略」との整合をとるため、基本計画の一部を見直した。(後期5カ年計画)
- ・次ページ以下は、後期5カ年計画の教育部門の抜粋である。
下線部が、見直しを行ったところである。

基本計画・・・・P2～P19

実施計画・・・・P20～P38

■基本目標 2. みんな健康で、笑顔あふれるまち

■政策 1. 子育て環境を充実し、

子どもの健やかな成長を支援する

■施策 2. 家庭における子育てへの支援

基本方針

少子化や核家族化の進行や雇用状況の不安定さなどの理由により、本来喜びを感じるべき子育てに対して、精神的・経済的に不安感や負担感を持っている家庭への支援を充実していきます。

現状と課題

家庭教育は、子育てや子どもの教育の起点ですが、核家族化や少子化、社会情勢の変化による価値観の多様化や人間関係の希薄化等により家庭教育においてさまざまな課題が生じてきています。離婚の増加によるひとり親家庭の増加、相談者や育児援助者がないための育児ノイローゼの増加傾向など、子育てに自信が持てなかったり、深刻な悩みを抱えたりする保護者が増える中、家庭における養育力の向上を目指した支援がますます重要となってきています。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
子育ての相談・支援体制が充実していると答えた割合 (%)	まちづくり市民アンケート	実績	16.8	13.7
		年度	H21	H27

施策展開

①子育て負担の軽減

子育て家庭の経済的負担や、悩みを解消するため、相談支援体制や情報提供を充実し、負担の緩和を図ります。また、祖父母の育児参加など家族の支え合いによる子育てを支援し、子育て負担の軽減につなげます。

②家庭教育の支援

子育てに不安を感じている保護者に対して、家庭における養育力向上のための学習体制・相談体制を充実していきます。そのため、関係機関と連携しながら学習機会の場の提供を図ります。

主な取組

- 多子世帯の保育料の軽減
- 就園・就学経費への支援
- 子育て相談窓口の拡充
- 子育て支援センターの充実
- ひとり親家庭の支援
- 子育て教室・親育ち教室の開催

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 1. 夢を持ち、元気で才能豊かな、

いのち輝く新庄っ子を育成する

■施策 1. 生きる力と夢を育む学校教育の推進

基本方針

変化の激しい社会に対応できるよう、学校教育の中で、子どもの心、能力、体をバランスよく育て、生きる力と夢の持てる教育を推進します。そのため、心の教育の充実を図りながら、たくましい児童生徒の育成と、各学校の実情に合わせた特色ある学校づくりを推進します。

現状と課題

少子化が進む中で、子どもの生きる力を育む教育をどのように充実させていくかが大きな課題となっています。そのため、各学校が創意ある教育活動を推進し、特色ある学校づくりを展開しています。読み書きの力を身につけ、考える力や豊かな心を育むのに欠くことができるのが読書です。学校図書館員の配置により子どもの読書活動の充実が図られ、今後も継続的な実施が望まれます。一方、国際理解教育を進めるうえで、小さい頃からの異文化との交流はその影響も大きく、外国語教育等の充実へ向けたさらなる教育環境の整備が求められています。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
読書が好きな子どもの割合 (%)	<u>全国学力テスト小・中学</u> 生	実績	<u>58</u>	<u>74.1</u>
		年度	<u>H22</u>	<u>H26</u>
学校教育が充実していると答えた割合 (%)	まちづくり市民アンケート	実績	<u>35</u>	<u>35.5</u>
		年度	<u>H21</u>	<u>H27</u>

施策展開

①心の教育の充実

「いのち」を大切に思う心の教育を充実させます。そのため、豊かな心を育む道徳教育を推進するとともに、人との関わりを大切にした活動を行います。また、学校図書館の充実を図り、読書活動の推進により子どもたちの豊かな感性と情操を育みます。さらに、児童会・生徒会の充実により、集団としての自浄作用を高めるなど積極的な生徒指導の推進を図るとともに、関係機関と連携した教育相談体制を強化し、児童生徒一人ひとりへの対応を充実させます。

②特色ある学校づくりの推進

子どもたちの夢や主体的な活動を育み、新しい時代に大きく飛躍できるよう、各学校の創意あふれる教育活動により、特色ある学校づくりを推進します。そのためにも、教職員の研修を充実し、指導力の向上に努めるとともに、国際理解教育や環境教育、情報教育などを通し、確かな学力を育み、たくましく生きる子どもを育成します。

③児童・生徒の健康と体力の向上

健康で元気な子どもの育成を目指した活動を活性化します。また、子どもの体力・運動能力向上のため、発達段階に応じた計画的な指導を行うとともに、運動部活動などを通じたスポーツ活動の充実を図ります。さらに、家庭との連携を図りながら、基本的生活習慣の確立に努めます。

主な取組

- 「いのちの教育」の推進
- 読書教育の推進
- 明るく楽しい学校づくりの推進
- 国際理解教育の推進
- 食育の推進
- 基本的な生活習慣の確立

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 1. 夢を持ち、元気で才能豊かな、

いのち輝く新庄っ子を育成する

■施策 2. 地域に根ざした学校教育の充実

基本方針

地域に密着した教育を推進するため、地域や高等教育機関等と連携しながら教育環境の充実に向けた取組を推進します。また、新庄市の特色である中学校区単位での小中連携事業を充実させながら、小中一貫教育に向けた取組を推進します。

現状と課題

学校教育での様々な課題を解決するためには、小学校と中学校がより密接に継続した教育環境を作ることが急務とされています。また、児童生徒が多様な経験を積み、様々な関わりの中で自ら興味をもって学ぶ力を育むためには、地域との関わりは欠かすことができません。そのため新庄市では、中学校区単位での交流活動や地域との結びつきを強めた学校運営を進めてきました。これをさらによりよいものとするために、小中一貫教育を推進するとともに、地域に根ざした学校づくりを進めていかなければなりません。また、児童生徒への多様な学習機会の提供と教育力の向上を目的とした、地域の高等教育機関等とのさらなる連携と活用が望まれています。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
「新庄や自分の住んでいる地域が好きだ」と答えた児童生徒の割合 (%)	学校評価	実績 <u>85.5</u>	<u>85.5</u>	<u>90</u>
		年度 <u>H26</u>	<u>H26</u>	
「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれている」と答えた割合 (%)	まちづくり市民アンケート	実績 <u>32.8</u>	<u>32.2</u>	<u>40</u>
		年度 <u>H21</u>	<u>H27</u>	
「地域の行事に参加している」と答えた人の割合 (%)	全国学力・学習調査	実績 <u>71.9</u>	<u>75.6</u>	<u>83</u>
		年度 <u>H25</u>	<u>H27</u>	

施策展開

①小中一貫教育の推進

義務教育課程9年間を計画的かつ継続的に教育指導を行うことにより、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かい指導が可能となります。そのため、心身の発達に考慮した連続性のある教育課程の編成を行うとともに、中学校区単位での児童生徒や教職員の連携・交流を進め、小中一貫教育のさらなる充実を図ります。

また、27年度に開校した施設一体型小中一貫教育校萩野学園については、モデル校としての取組を発信していきます。

②地域の学校づくりの推進

郷土に対する关心や、自然・農業体験学習など学校だけでは学び得ないものを、地域との交流活動のなかで学ぶ取組を推進します。また、よりよい教育環境づくりのため、地域とともに元気な学校づくりを推進します。

③高等教育機関等との連携及び活用

児童生徒の学習機会を一層充実し、教育力のさらなる向上を図るため、山形大学や農業大学校、地元の高等学校や研究機関との連携と活用の場を広げます。

主な取組

- 9年間一貫カリキュラムの作成
- 施設一体型小中一貫教育校の推進
- ふるさと学習の推進
- 学習支援ボランティアの活用
- 山大エリアキャンパスとの連携

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 1. 夢を持ち、元気で才能豊かな、

いのち輝く新庄っ子を育成する

■施策 3. 安全安心な教育環境の整備

基本方針

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、登下校を含めた生活全般での安全を確保します。また、安全で快適な学校施設の整備を促進します。

現状と課題

多くの学校施設が老朽化しており、修繕、改築を計画的に実施していくかなければなりませんが、小・中学校施設の耐震化の工事は全て終了しました。小学校区単位で見守り隊が結成され、登下校時の安全が確保されています。さらなる安全確保のため、通学路の点検や地域内での危険箇所の把握に努め、防犯や交通安全対策に対する取り組みの充実が求められています。また、遠距離通学者への対策も求められています。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
小学校区・中学校区のスクール バス等利用区域数	教育総務課調べ	実績 年度	<u>35</u> <u>H21</u>	<u>46</u> <u>H26</u>
		実績 年度	<u>9</u> <u>H21</u>	<u>3</u> <u>H26</u>
交通事故の発生件数（件）	学校教育課調べ	実績 年度	<u>9</u> <u>H21</u>	<u>3</u> <u>H26</u>
				0

施策展開

①学校施設の整備・充実

安全で快適な学校運営のため、学校施設及び設備の整備・充実を図ります。また、大規模地震による災害などに備え、耐震化が必要な学校については、計画的な改修を行っていきます。

②登下校の安全安心の確保

児童生徒が安心して登下校できるよう、関係機関が連携を強化して通学路の定期安全点検等を実施するとともに、隨時、情報収集に努め、改善対応を行い、交通安全対策に万全を期します。また、遠距離児童生徒の通学手段の確保を図るため、年次計画に沿って見直しを含めつつ、順次、スクールバス・通学バスの運行を拡大します。

主な取組

- 施設の計画的改修等の実施
- 環境にやさしい学校づくりの推進
- 安全安心通学プランの推進
- あいさつ運動の推進

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 2. 互いに学び高め合う生涯学習の推進

と豊かな文化芸術の振興を図る

■施策 1. 生涯にわたる学びの推進

基本方針

市民一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中、市民の学習ニーズに対応した多様な学習情報と学習機会の提供に努めます。また、生涯を通じて学びたいときに誰もが学べるよう、生涯学習施設の充実を図ります。

現状と課題

少子高齢化や情報化・国際化などの社会情勢の変化とともに、生涯学習の場では多様な学習機会が求められており、より充実した学習機会の提供を図っていかなければなりません。また、一人ひとりの経験を活かした公益活動を推進するとともに、社会的課題に対応するための学習機会の提供も必要とされています。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
図書貸出冊数（冊）	社会教育課調べ	実績	161,367	200,000
		年度	H21	
生涯学習施設稼働率（%）	社会教育課調べ	実績	41.8	40
		年度	H21	

施策展開

①多様な学習機会の提供

市民の学習への関心の高まりに対応するため、放送大学の活用や、市民を対象にした各種講座の開設を行います。また、市報やホームページ等を活用し、市内外の学習情報の提供に努めます。

②生涯学習施設の充実

民間活力を活かしながら誰もが利用しやすい施設を目指すとともに、施設間の連携を図りながら、学習の場を充実していきます。

主な取組

- 市民主体の学習機会創出
- 地元研究機関を活用した学習
- 学習情報の提供
- 青少年ボランティアへの育成・支援
- 施設の計画的な整備

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 2. 互いに学び高め合う生涯学習の推進

と豊かな文化芸術の振興を図る

■施策 2. 活力みなぎる地域活動の推進

基本方針

市民が地域において主体的に活動するための学びを支援するとともに、活動拠点の環境整備を進め、地域を支える人材の育成を図ります。

現状と課題

高齢化や核家族化の進行により、地域での人間関係や連帯意識が希薄化しつつあります。そのため、地域を支えるリーダーの育成と、地域の課題解決の基盤となる地域コミュニティの活性化が求められており、また、活発なコミュニティ活動を行うための環境整備が必要とされています。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
市民活動に対する支援が充実していると答えた割合 (%)	まちづくり市民アンケート	実績 <u>9.4</u>	現状 <u>14.1</u>	20
	年度 <u>H21</u>	年度 <u>H27</u>		
地域公民館の整備件数 (件)	社会教育課調べ	実績 <u>4</u>	現状 <u>7</u>	10
	年度 <u>H24</u>	年度 <u>H27</u>		

施策展開

①地域における活動の環境整備

地域の活動拠点となる生涯学習施設や地区公民館と連携した地域活動を進めます。また、地域活動への参加を促すための啓発を行うとともに、公民館機能の環境整備を図るなど、地域コミュニティ活動に対する支援を行います。

②地域を支える人材の育成

活力ある地域づくりを推進するため、世代間交流を通した担い手づくりと地域の仲間づくりを進めます。また、地域活動の中心となるリーダー育成のための研修機会の充実を図るとともに、学んだ成果を地域に活かせる環境づくりを進めます。

主な取組

- 地域コミュニティ活動への支援
- 地域のリーダー育成

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 2. 互いに学び高め合う生涯学習の推進

と豊かな文化芸術の振興を図る

■施策 3. 市民が輝く文化芸術の振興

基本方針

伝統文化の継承や文化財の保護を通して、ふるさとの歴史や文化に対する理解を深めることにより郷土愛を育みます。また、文化芸術の鑑賞や創作等に関わる機会を提供することにより、感性豊かな人材の育成に努めます。

現状と課題

社会の情報化とあいまって文化芸術に触れる機会は多くなっているものの、直接鑑賞する場が少ないことから、できるだけ多くの機会を設け、心豊かな人づくりをしなければなりません。

ふるさとの宝・文化財は、有形・無形を問わず、市民のふるさと意識を高める源となるものです。今後も、市民が郷土の歴史文化への理解を深めながら、それらを次の世代に継承していくとともに、国重要無形民俗文化財に指定された新庄まつりをはじめとして、魅力ある新庄市の文化を全国に広く発信していかなければなりません。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
新庄市芸術祭参加者数（人）	社会教育課調べ	実績 <u>1,661</u>	<u>1,445</u>	2,000
		年度 <u>H21</u>	<u>H26</u>	
新庄市文化団体会議加入団体数	社会教育課調べ	実績 <u>31</u>	<u>30</u>	35
		年度 <u>H21</u>	<u>H26</u>	
ふるさと歴史センターの来場者数（人）	社会教育課調べ	実績 <u>13,468</u>	<u>14,603</u>	15,000
		年度 <u>H21</u>	<u>H26</u>	

施策展開

①伝統文化の継承とふるさと意識の醸成

文化財の保護と活用を図り、新庄まつりや民話をはじめとした新庄市の誇れる伝統文化を後世に継承します。また、ふるさとの歴史や文化を知る機会を増やすとともに、広く情報発信することにより、ふるさと意識の醸成を図ります。

②創造的文化芸術活動の推進

質の高い音楽や演劇などの文化芸術の鑑賞や、文化芸術で活躍する地元出身者の業績を知る場の充実を図ります。また、市民が文化芸術活動に参加できる機会をつくるなど、自主的な活動に対する支援を行い、豊かな心の育成を図ります。

主な取組

- 新庄まつりの継承
- 地域の伝統行事、まつりの学習
- 民話の学習機会の拡充と語り部の育成
- 芸術鑑賞機会の整備
- 子ども芸術学校

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 3. 一人ひとりに応じた

夢と感動のあるスポーツライフを実現する

■施策 1. 多様なニーズに応える生涯スポーツの振興

基本方針

市民一人ひとりが日常生活の中で目的や志向に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる社会を実現するため、ニーズに応じたスポーツイベントの開催や、スポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れる環境をつくります。さらに、適切な施設運営、整備を進め、誰もがスポーツに親しめる環境の整備を図ります。

現状と課題

生涯スポーツの場では、市民の誰もが、年代にあったスポーツを親しむことが出来るよう、レクリエーションスポーツや親子で楽しめるスポーツなどの情報提供、市民参加型スポーツイベントの開催が必要とされています。また、総合型地域スポーツクラブ（※1）は、市民の自主性により、身近なスポーツ環境を作りあげていくものであり、スポーツ人口拡大のためにもその役割は大きく、クラブの充実と会員数の増加が課題となっています。スポーツ施設については、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要とされます。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
総合型地域スポーツクラブ会員数（人）	社会教育課調べ	実績 <u>341</u>	<u>407</u>	<u>450</u>
年度		<u>H21</u>	<u>H26</u>	
市民参加型スポーツイベント参加者数（人）	社会教育課調べ	実績 <u>3,623</u>	<u>3,623</u>	<u>4,300</u>
年度		<u>H26</u>	<u>H26</u>	
スポーツ施設の使用者数（人）	社会教育課調べ	実績 <u>151,093</u>	<u>139,722</u>	<u>155,000</u>
年度		<u>H24</u>	<u>H26</u>	

施策展開

①多様なスポーツ機会の提供

多くの市民が参加しやすいイベントを開催するとともに、多様なスポーツ機会を提供し、スポーツに対する親しみを深めます。また、市民が身近にスポーツを感じることができるように、様々な情報提供を行います。

②総合型地域スポーツクラブの充実

子どもから高齢者までの、健康や体力づくりのため、市民自ら運営する総合型地域スポーツクラブの活動充実のための支援を行います。

③スポーツ施設の充実

スポーツ施設の充実は、大きな大会を誘致できる機会が増え、競技力の向上にもつながることから、長期的な整備計画を立て、広域的な使用も含めた計画的な整備を図ります。また、学校体育施設の有効活用を図り、スポーツ活動の場の充実を図ります。

主な取組

- スポーツイベントの開催
- 市民参加型スポーツの普及
- スポーツ情報の提供
- 地域スポーツクラブの活動支援
- 既存施設の計画的な整備と有効活用

※1 総合型地域スポーツクラブ

地域住民の自主的・主体的な運営により、年齢やレベルに応じた他種目のスポーツを楽しむことが出来るスポーツクラブ。

■基本目標 3. ふれあい、学びあい、心をつなぐまち

■政策 3. 一人ひとりに応じた

夢と感動のあるスポーツライフを実現する

■施策 2. 新たな活力を生み出す競技スポーツの振興

基本方針

トップレベルの大会で地元選手が活躍することは、応援する市民の活力となり、地域の活性化にもつながります。関係団体との連携強化により、選手や指導者の育成を図るとともに、全国規模の試合の誘致に努め、競技力の向上を図ります。

現状と課題

新庄市からは、全国的に活躍する優秀な人材が輩出されていますが、そのような人材が地元で活躍できない状況にあります。また、小中学校で活躍している選手が、高校生、社会人になると他の地域で活動しているのが現状であり、地元でも活動できる環境の整備が求められています。

競技スポーツでの活躍は、市民に夢と感動を与え、地域の一体感と活性化を促進します。そのため、スポーツ関係団体と連携を取りながら、選手や指導者の育成・確保、ジュニア期からの一貫指導システムの構築など総合的な取組が必要となります。

目標指標

指標名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
新庄市体育表彰者数（個人・団体）（組）	社会教育課調べ	実績 <u>44</u>	<u>65</u>	<u>70</u>
		年度 <u>H21</u>	<u>H26</u>	
日本体育協会公認スポーツ指導者数（人）	指導員・コーチジュニア スポーツ指導員・スポーツリーダーなど	実績 <u>24</u>	<u>47</u>	<u>50</u>
		年度 <u>H21</u>	<u>H26</u>	

施策展開

①選手の確保・育成

ジュニア期からの一貫した選手育成のためのシステム構築に向けた取組を行い、地域で活躍できる選手の育成に努めます。競技毎の育成計画を策定し、長期的な育成を図るとともに、活躍が期待される選手への支援を行います。また、スポーツ大会の誘致により、トップレベルのプレーに触れる機会を増やし、競技力向上への動機付けを行います。

②指導者の育成・支援

競技力向上のためには、専門的知識と熱意のある指導者を確保する必要があります。そのため、競技団体と連携を図り、指導者養成のための研修を実施し、指導者の裾野を広げる取組を行います。

主な取組

- 学校・企業・競技団体が連携した選手の確保・強化
- 駅伝の強化
- スポーツ大会の誘致
- スポーツ指導者公認資格の取得奨励

基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち
政 策	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する
基本計画(施策)	2	家庭における子育てへの支援
基本方針	少子化や核家族化の進行や雇用状況の不安定さなどの理由により、本来喜びを感じるべき子育てに対して、精神的・経済的に不安感や負担感を持っている家庭への支援を充実していきます。	

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
子育ての相談・支援体制が充実していると答えた割合(%)	まちづくり市民アンケート	実績	16.8	13.7
		年度	H21	H27

【施策展開】①子育て負担の軽減

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	子育て支援医療費給付事業	子育て推進課			H28	H29	H30	H31	H32
○	未就学児～中学3年生までを対象とし、対象者の医療機関での窓口負担を減額し、その分を県と市が折半(0歳～小学3年生。小学4年生～中学3年生は入院のみ)で負担する。	給付額(千円)	80,592	-					
○					133,281				
2	私立幼稚園就園奨励費補助金交付事業	子育て推進課			H28	H29	H30	H31	H32
○	私立幼稚園の設置者が入園料及び保育料を减免する場合に、入園児がいる世帯の所得状況に応じて補助金を算定し、私立幼稚園の設置者に交付する。	補助金交付園児数(人)	269	-					
					37,500				
3	私立幼稚園にこにこ子育て支援事業補助金交付事業	子育て推進課			H28	H29	H30	H31	H32
○	私立幼稚園の設置者が、2人目、3人目の保育料を軽減した場合に、私立幼稚園の設置者に補助金を交付する。	補助金交付園児数(人)	20	-					
					1,000				
4	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	子育て推進課			H28	H29	H30	H31	H32
○	日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児に対して、特殊寝台等の日常生活用具を給付する。	受給者数(人)	-	-					
					200				

【施策展開】②家庭教育の支援

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
			事業費(千円)						
1	子育て支援センター事業	子育て推進課	H28	H29	H30	H31	H32		
○	育児の悩み等の相談・子育てサークルへの支援と育成・地域保育資源の情報提供や広報を実施する。また、民間立保育所に設置された子育て支援センター事業に対して補助金を交付する。	市地域子育て支援センターにおける相談件数(件)	249	-	→				
					4,520				
2	家庭児童相談事業	子育て推進課	H28	H29	H30	H31	H32		
○	相談、助言、支援することにより、養育における問題解決を図る。また、他機関と連携し、問題を未然に防ぐよう努める。	相談件数(件)	417	-	→				
					1,832				
3	家庭教育推進事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
○	小中学校の保護者を対象としてやまとがた子育ち講座、保育所等の保護者を対象として幼児共育ふれあい広場を開催し、家庭教育について学習する機会を提供する。	参加者(人)	1,503	1,700	→				
					441				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する
基本計画(施策)	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進
基本方針	変化の激しい社会に対応できるよう、学校教育の中で、子どもの心、能力、体をバランスよく育て、生きる力と夢の持てる教育を推進します。そのため、心の教育の充実を図りながら、たくましい児童生徒の育成と、各学校の実情に合わせた特色ある学校づくりを推進します。	

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
読書が好きな子どもの割合(%)	全国学力テスト小・中学生	実績	58	74.1
		年度	H22	H26
学校教育が充実していると答えた割合(%)	まちづくり市民アンケート	実績	35	35.5
		年度	H21	H27

【施策展開】①心の教育の充実

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	教育相談事業	学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
○	教科指導、不登校児童生徒を支援するための適応教室の開設と運営、教育に対する様々な悩み等に対する相談、支援事業の実施 など	不登校児童生徒数(人)	28	19	→				
					5,444				
2	児童生徒の個別支援事業	学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
○	必要とする小中学校に個別学習指導員を配置。学校教育活動に参画し、一人一人の学習支援を行うとともに教員との協力による指導を行う。	実態に応じた個別指導体制の該当児童生徒数(人)	49	-	→				
○					27,472				

【施策展開】②特色ある学校づくりの推進

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績値	目標値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	学校支援地域本部事業		学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	市内小中学校及び義務教育学校11校に地域コーディネーターを配置し、学校図書館の整備と機能の充実を図ることにより、読書好きな児童生徒を増やすとともに、学校支援ボランティアの窓口となって学校と地域の連携を図る。	年間一人平均貸出冊数(小学生)	76	100	14,998				
2	教育研究所運営事業		学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	教員を対象とする職務を中心とする研修会の開催、授業改善など各種の指導研修会の開催、授業における指導資料等の作成	講座・研修会数	35	35	109				
3	学力等検査事業		学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	学力検査と知能検査のテキスト代及び検査手数料を支援する。	標準学力検査(小学校6年・算数)の偏差値平均(偏差値)	51	55	5,868				
4	国際理解教育・外国語教育推進事業		学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	新庄市ALT2名による小中学校での外国語活動、英語学習の展開や市内在住外国人との交流を通した国際理解教育の推進	標準学力検査(中学校2年・英語)の偏差値平均(偏差値)	48	51	9,676				

【施策展開】③児童・生徒の健康と体力の向上

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績値	目標値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	学校教育体育・文化振興事業		学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	スポーツ活動、芸術文科活動の大会出場に関し、奨励金を支給する。	大会出場数の伸び率(対前年費)	74	110	1,591				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する
基本計画(施策)	2	地域に根ざした学校教育の充実
基本方針	地域に密着した教育を推進するため、地域や高等教育機関等と連携しながら教育環境の充実に向けた取組を推進します。また、新庄市の特色である中学校区単位での小中連携事業を充実させながら、小中一貫教育に向けた取組を推進します。	

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
新庄や自分の住んでいる地域が好きだと答えた児童生徒の割合(%)	学校評価	実績	85.5	90
		年度	H26	
子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれていると答えた割合(%)	まちづくり市民アンケート	実績	32.8	40
		年度	H21	
地域の行事に参加していると答えた人の割合(%)	全国学力・学習調査	実績	71.9	83
		年度	H25	

【施策展開】①小中一貫教育の推進

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	小中一貫教育推進事業		学校教育課		H28	H29	H30	H31	H32
○	小中一貫教育校を設置し、小1プロブレム、中1ギャップの解消を図り、いじめ、不登校、学力低下に対応する教育環境を整備する。	友人関係、教師との関係が原因の不登校件数	7	0	2,162				

【施策展開】②地域の学校づくりの推進

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	学校のつばさ支援事業			学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	各小中学校における特色ある教育活動を具現化するため、中学校区ごとに組織している「特色ある学校づくり推進委員会」に委託	家庭・地域を巻き込んだ研修会等への参加人数(人)	980	-	4,500				

【施策展開】③高等教育機関等との連携及び活用

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	「山大エリアキャンパスもがみ」運営事業〔フィールドワーク事業〕			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	山形大学と連携し、地域そのものを大学のキャンパスに見立て、新庄市特有の歴史や文化等を活用した特色あるプログラムを学生に提供する。	フィールドワーク受け入れ機会	7	7	278				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する
基本計画(施策)	3	安全安心な教育環境の整備
基本方針	子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、登下校を含めた生活全般での安全を確保します。また、安全で快適な学校施設の整備を促進します。	

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
小学校区・中学校区のスクールバス等利用区域数	教育総務課調べ	実績	35	46
		年度	H21	H26
交通事故の発生件数(件)	学校教育課調べ	実績	9	3
		年度	H21	H26

【施策展開】①学校施設の整備・充実

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	学校図書館図書整備事業 各小・中学校に均等割り及び学級割りで予算を配当し、計画的に図書の増冊を行う。	教育総務課 図書整備達成学校数(校)	H28 4	H32 10					
					6,000				
2	学校教材備品整備事業 各小中学校に均等割り及び学級割りで予算を配当し、教材備品の整備を行う。	教育総務課 1学級あたりの平均備品整備額(円)	H28 45,103	H32 -					
					4,400				
3	学校理科教材整備事業 理科教育設備整備年次計画をもとに、毎年度、小学校2校、中学校1校に理科に関する設備を整備する。	教育総務課 理科設備備品現有総額(千円)	H28 44,989	H32 -					
					1,050				

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績値	目標値	実施の期間				
					事業費(千円)				
4	情報教育推進事業		教育総務課	H28	H29	H30	H31	H32	
	教職員1人1台の校務用PC配備環境の構築・維持や本体サーバー及び校内LANによる校務情報管理の徹底など	電子黒板の活用回数(全校年間平均回数)	410	410	43,545				
5	学校施設整備・管理事業		教育総務課	H28	H29	H30	H31	H32	
	安全・安心な学校施設を維持するための保守点検、異常や危険があれば修繕・改修を行う。また、大規模な工事が必要なものについては、年次計画により整備を行う。	計画修繕実施率(%)	73	100	16,429				

【施策展開】②登下校の安全安心の確保

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績値	目標値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	通学手段確保対策事業		教育総務課	H28	H29	H30	H31	H32	
○	新庄市立小中学校児童生徒通学手段確保対策協議会において、通学バス等により児童の通学手段を確保する。	スクールバス等通学利用者数(人)	198	220	5,767				
2	安全安心通学プラン推進事業		教育総務課	H28	H29	H30	H31	H32	
	安全安心通学プランに基づき必要な事項を調査検討し、スクールバスや通学バスを配備し運行する。	小学校区・中学校区のスクールバス等利用地区数	46	83	35,403				
3	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業		学校教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	児童・生徒の登下校の交通安全の巡回指導。声掛け事業やクマ出没など、突発的な事件・事故に対する、安全確保の援助活動。	交通事故発生件数	3	0	546				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る
基本計画(施策)	1	生涯にわたる学びの推進
基本方針	市民一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中、市民の学習ニーズに対応した多様な学習情報と学習機会の提供に努めます。また、生涯を通じて学びたいときに誰もが学べるよう、生涯学習施設の充実を図ります。	

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
図書貸出冊数(冊)	社会教育課調べ	実績	161,367	150,091
		年度	H21	H26
生涯学習施設稼働率(%)	社会教育課調べ	実績	41.8	32.6
		年度	H21	H26

【施策展開】①多様な学習機会の提供

番号	事務事業名		担当課	H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間			
					事業費(千円)			
1	国際理解推進事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	日本語教室や交流会の開催、市民団体による国際理解に関する事業の支援	交流事業(延)参加者数(人)	25	30	210			

【施策展開】②生涯学習施設の充実

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	市民プラザ管理事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
	指定管理者制度を活用し、さまざまな自主事業を実施する。また、安全で快適な利用ができるように、施設の維持管理を行う。	提案事業の参加者(入場数)	1,095	1,500	36,990				
2	図書館管理事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
	指定管理者制度を活用し、約13万冊の図書を蔵書している。図書の貸し出し、レファレンスのほか、学校、施設等と連携をとりながら、移動図書館や読み聞かせ活動等の事業を行う。	図書館の貸出人数	1,095	1,500	39,427				
3	雪の里情報館管理事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	指定管理者制度を活用し、雪セミナーを軸に、雪に関する各種事業を展開する。また、雪国に関係する資料約4万点を収蔵しており、雪国文化の学習の場としても提供している。	ギャラリー展示室の利用者数	3,754	5,000	18,570				
4	わくわく新庄管理事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
	指定管理者制度を活用し、フェスティバルや卓球大会、デジカメ教室など幅広い事業を展開する。また、安全で快適に利用できるように、施設の維持管理を行う。	新規事業の参加者数	305	500	17,550				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る
基本計画(施策)	2	活力みなぎる地域活動の推進
基本方針		市民が地域において主体的に活動するための学びを支援するとともに、活動拠点の環境整備を進め、地域を支える人材の育成を図ります。

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	まちづくり市民アンケート	実績	9.4	14.1
		年度	H21	H27
地域公民館の整備件数(件)	社会教育課調べ	実績	4	7
		年度	H24	H27

【施策展開】①地域における活動の環境整備

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	地区公民館管理事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	施設の状態を学習の場に適するよう に人員を配置し、メンテナンスを定期 的に実施。萩野地区公民館・八向地区 公民館・角沢ふれあい交流広場	利用者数(人)	17,498	18,000					
			12,672						
2	地域公民館整備助成事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	地域公民館の新築、増築又は改修に 要する経費に対し、補助を行う。	助成町内件数(件)	6	10					
			3,500						

【施策展開】②地域を支える人材の育成

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績値	目標値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	青少年育成推進員設置事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	市内学校区における青少年育成推進員が、様々な事業等を通し、地域における青少年健全育成のための環境づくりと青少年育成活動への支援を行う。	活動回数(回)	22	25					
					110				
2	新庄市青少年育成市民会議事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	青少年の健全育成活動に閑わり、地域ぐるみでの活動を行う。また、高萩市児童交流事業などを通して、他地域との交流も図る。	事業の参加者数	1295	1,360					
○					0				
3	成人式開催事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	成人式の式典を開催する。	成人式参加率(%)	69	75					
					62				
4	高校生ボランティア体験事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	ボランティア活動の体験機会の増加を図る。また、地域社会において公益的な活動をする人材を育てるために、地域活動団体などとも交流・連携しながら活動を行う。	しづく登録者数(人)	32	35					
○					144				
5	市民活動支援事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	必要な機材の提供、市民活動フェスタの開催、スキルアップ講座の実施、活動に必要な資金獲得のサポート	市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	16	20					
○					4,844				
6	女性団体育成支援関係事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
○	新庄市女性団体連絡協議会事務局として事業を支援する。	加入団体数(団体)	3	4					
					0				
7	地域リーダー育成事業			総合政策課	H28	H29	H30	H31	H32
○	参加者が地域づくりに関わる課題や現状認識の共有化を図りながら、課題解決策を見出し、その実施に向けた計画をつくる取り組みを実施することで、地域リーダーの育成を図る。	講座で学んだことを地域づくりに活かしていけると答えた割合(%)	89	100					
○					146				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る
基本計画(施策)	3	市民が輝く文化芸術の振興
基本方針	伝統文化の継承や文化財の保護を通して、ふるさとの歴史や文化に対する理解を深めることにより郷土愛を育みます。また、文化芸術の鑑賞や創作等に関わる機会を提供することにより、感性豊かな人材の育成に努めます。	

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
新庄市芸術祭参加者数(人)	社会教育課調べ	実績	1,661	1,445
		年度	H21	H26
新庄市市民文化団体会議加入団体数	社会教育課調べ	実績	31	30
		年度	H21	H26
ふるさと歴史センター来場者数(人)	社会教育課調べ	実績	13,468	14,603
		年度	H21	H26

【施策展開】①伝統文化の継承とふるさと意識の醸成

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	ふるさと歴史センター事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	歴史や民俗資料、市名誉市民の作品の常設展及び企画展の開催。新庄まつりの山車(歌舞伎・物語)展示。歴史・民俗講座の実施。	来場者数(人)	14,603	15,000					
			4,744						
2	ふるさと歴史センター管理事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	電気設備や消防設備等は法令等に基づいて専門業者に点検を委託する。日常的な点検は職員が実施する。	来場者数(人)	14,603	15,000					
			21,762						
3	重文旧矢作家住宅管理事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	最上地方における江戸時代中期の農家住宅の構造が見られる貴重な建造物として、国の重要文化財に指定された「旧矢作家住宅」の安定的な維持管理と、文化財の活用として一般公開に努める。	旧矢作家住宅の見学者数(人)	1,498	1,600					
			2,707						

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
					事業費(千円)				
4	ふるさと歴史センター資料収集、保存、調査研究事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	未整理資料・収蔵品の整理。館内のどこに、どんな資料が、どれだけ収蔵されているか、という基本情報を短時間で検索できる体制を構築する。H27までは民具を中心にして整理を行い、H28からは古文書を中心に整理する。	年間の資料整理件数(件)	504	1,400	60				
5	民話普及事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	新庄民話の会との協働事業を基本に、語り手の発表の機会を増やす。	語りの日観客数(人)	600	650	153				
6	文化財保護管理事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	関係団体との協議のもと、市内に存在する文化財の安定的な維持管理に努める。	国の文化財(戸沢家墓所、八幡神社)への見学者数(人)	45,000	47,000	4,920				
7	新庄亀綾織伝承協会支援事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	市の伝統的な工芸品である「亀綾織」の振興及び後世への伝承を図るために補助金を交付する。	新庄亀綾織伝承協会会員数(人)	5	5	500				

【施策展開】②創造的文化芸術活動の推進

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	市民文化会館管理事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	指定管理者制度を活用し、演劇教室や歌舞伎公演など、さまざまな文化芸術活動を行う。また、安全で快適に利用できるように、施設の維持管理を行う。	自主事業の入場者数	5,900	6,500	41,156				
2	子ども芸術学校事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	市民有志による「新庄市子ども芸術学校実行委員会」を組織し、社会教育課が事務局となり実施する。(4部門)	受講者数(人)	48	50	800				
3	山形県総合美術展覧会巡回展	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	市民プラザの指定管理者と市内美術団体との協働により、共有意識を持ちながら、それぞれの立場・役割を尊重しながら効果的な組織体制により実施する。	入場者数(人)	1,559	1,600	562				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する
基本計画(施策)	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興
基本方針		市民一人ひとりが日常生活の中で目的や志向に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる社会を実現するため、ニーズに応じたスポーツイベントの開催や、スポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れる環境をつくります。さらに、適切な施設運営、整備を進め、誰もがスポーツに親しめる環境の整備を図ります。

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
総合型地域スポーツクラブ会員数 (人)	社会教育課調べ	実績	341	407
		年度	H21	H26
市民参加型スポーツイベント参加者 数(人)	社会教育課調べ	実績	3,623	3,623
		年度	H26	H26
スポーツ施設の使用人数(人)	社会教育課調べ	実績	151,093	139,722
		年度	H24	H26

【施策展開】①多様なスポーツ機会の提供

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	市民参加型スポーツイベント開催事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
○	各種目(クリテリウム・スポーツレクリエーション祭、ゴルフ、いものこマラソン)の大会、市総体を開催する。 地域21スポーツクラブの競技種目も含める。	クリテリウム・スポーツレクリエーション祭・ゴルフ・いものこマラソン・市総体・地域スポーツクラブ参加者数(人)	3,623	4,300					
○	市のスポーツ振興を市と両輪で推進するため協会へ補助金を交付する。	体育表彰者数(個人・団体)(件)	65	100	30				
○	新庄市総合体育大会委託事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
○	(一財)新庄市体育協会に全面委託し、競技団体の自主性を重んじながら事業を実施する。	大会参加者数(人)	2,003	2,500					
					848				

【施策展開】②総合型スポーツクラブの充実

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績値	目標値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	総合型地域スポーツクラブ育成事業		社会教育課		H28	H29	H30	H31	H32
	新庄21地域スポーツクラブの自立自存を、施設使用料の減免による支援する。 市民体力テスト業務委託による財政支援	新庄21地域SCの年度末会員数(人)	407	450	100				

【施策展開】③スポーツ施設の充実

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績値	目標値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	市体育館管理運営事業		社会教育課		H28	H29	H30	H31	H32
	体育館を整備し市民に貸し出す。また、市のスポーツ振興の中心となり事務事業を行う。	利用者数(人)	43,844	55,000	18,365				
2	市民スキー場管理事業		社会教育課		H28	H29	H30	H31	H32
○	公の施設の適正な管理を確保しつつ、住民サービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を活用。	利用人数(人)	12,864	15,000	27,046				
3	市民球場管理事業		社会教育課		H28	H29	H30	H31	H32
	公の施設の適正な管理を確保しつつ、住民サービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を活用。	利用人数(人)	32,384	37,000	21,544				
4	武道館管理事業		社会教育課		H28	H29	H30	H31	H32
	公の施設の適正な管理を確保しつつ、住民サービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を活用。	利用人数(人)	14,909	16,000	4,516				
5	屋内ゲートボール場管理事業		社会教育課		H28	H29	H30	H31	H32
	公の施設として適正な管理を確保しつつ、住民サービスの質の向上を図るために、指定管理者制度を活用。	利用人数(人)	2,530	3,000	794				
6	市民プール管理運営事業		社会教育課		H28	H29	H30	H31	H32
	市民の健康増進及び水と親しむ場として、施設設備や水質の定期的な点検を実施する。	総利用人数(人)	5,226	7,000	3,597				

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
					事業費(千円)				
7	その他体育施設管理運営事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
	施設の維持管理運営	利用者数(人)	13,706	20,000	5,239				
8	市体育施設整備事業(全体)			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
	施設の維持管理運営(修繕・工事関係)	全施設利用者総数(人)	139,722	155,000	6,450				
9	山屋セミナーハウス管理事業			社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32
	多様なニーズに応えていくため、H25年度より指定管理者へ移行	利用者数(人)	14,259	18,000	10,280				

基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち
政 策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する
基本計画(施策)	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興
基本方針	トップレベルの大会で地元選手が活躍することは、応援する市民の活力となり、地域の活性化にもつながります。関係団体との連携強化により、選手や指導者の育成を図るとともに、全国規模の試合の誘致に努め、競技力の向上を図ります。	

【基本計画の目標指標】

指 標 名	指標の説明	基準値	現状値	H32 目標値
新庄市体育表彰者数 (個人／人／団体／組)	社会教育課調べ	実績	44	65
年度		H21	H26	70
日本体育協会公認スポーツ指導者 数(人)指導員・上級指導員・コーチ・ 上級コーチ・ジュニアスポーツ指導 員・スポーツリーダー	山形県体育協会調べ	実績	24	47
年度		H21	H26	50

【施策展開】①選手の確保・育成

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 現状 値	目標 値	事業の期間				
					事業費(千円)				
1	山形県縦断駅伝競走大会新庄・最上チーム強化事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	山形県縦断駅伝競走大会新庄・最上チームの強化策として、定期練習会の充実や各種大会へ参加する。また、最上地区のジュニア育成として、管内小・中学校、スポーツクラブを対象に、体育指導を行う。	山形県縦断駅伝競走大会のチーム順位	7	3					
2	陸上競技長距離強化事業	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	新庄ロードレース大会を開催し、最上地域内の小・中学生が長距離を競い、高校・大学で活躍しうる選手を発掘する。また、県ジュニア駅伝に出場し、市内の小・中学校の陸上長距離の強化を図る。	県市町村対抗ジュニア駅伝大会の新庄市チーム(男女)順位・上位順位の方	10	5					
3	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会負担金	社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32		
	負担金の支出と会員の拡大によって、協会及びその事業を支援する。	都道府県対抗女子駅伝大会の山形県チーム順位(位)	24	10					

【施策展開】②指導者の育成・支援

番号	事務事業名		担当課		H28	H29	H30	H31	H32
重点P 総合 戦略	内容	成果指標	H26 実績 値	目標 値	実施の期間				
					事業費(千円)				
1	スポーツ指導者活用事業		社会教育課	H28	H29	H30	H31	H32	
	積極的に各種研修会や実技指導に参加して習得したノウハウを市民スポーツの指導に活用する。	県研修会等の受講者数(人)	34	50	620				

資料2 明倫中学校区小中一貫校施設整備について

- ・明倫中学校区における小中一貫校施設整備については、これまで地域及び北辰小学校、沼田小学校、明倫中学校において①施設一体型小中一貫教育校「萩野学園」の現状②明倫中学校区における小中一貫教育校（義務教育学校）整備の基本的考え方について説明会を開催した。
- ・次ページ以下は、その際にいただいた、ご質問、ご要望等の主な内容である。

平成28年3月1日

北辰小学校保護者の皆様
北辰小学校区地域の皆様

小中一貫教育に係る北辰小学区地域懇談会の内容

1. 日 時 平成28年2月25日（水）午後7時～午後8時30分

2. 会 場 北辰小学校

3. 参加者 保護者・地域の方、約40名

4. 地域懇談会の日程及び内容

(1) 開 会

(2) 教育委員会あいさつ（武田 一夫 教育長）

(3) 説 明

①新庄市における小中一貫教育の現状について（長谷部 薫 学校教育課長）

②明倫中学区における小中一貫教育校（義務教育学校）整備の考え方について
(森 隆志 教育次長)

(4) 質 疑

(5) 閉 会

5. 質疑の主な内容

質問事項（○）、要望事項（□）、教育委員会の回答（→）

○今日説明したデータをもらえないか。

→出してよいものかどうかを検討します。

※児童生徒の写真など個人情報も含まれるため、データをお渡しすることができません。

○統合して義務教育学校となった場合、養護教諭や事務職員などについて減ることはないのか。

→国では、養護教諭や事務職員は二人配置としていますが、最終的に配置決定するのは県であるため、減らされることのないように依頼しています。

○北辰小学校が単独で存在することはあり得ないのか。

→北辰小単独での存在もあり得ますが、市としては3校一緒の施設一体型の一貫教育校を建設したい考えです。

○統合となった場合、スクールバスはどこから乗れるのか。新しい学校になれば、スクールバスで通学できるのか。

→市の安全安心通学プランに基づき、距離数を基本として、皆様と協議して決定します。

- 制服やジャージについてはどうなるのか。また、ジャージについて、市から補助されるのか。
→制服やジャージについては、皆様と協議しながら決定します。なお、補助については考えておりません。
- 北辰小学校では教職員数と児童数がちょうど釣り合いがとれているので、このままでと考えている。
→萩野学園開校の時も児童数が増えることによって、きちんと教師の目が届くのかという不安がありました。そのためにも、教科担任制を行って多くの教師の目が届くようにしたり、小中の教員が合同の活動を行ったりすることで、目が届くようにしています。
- 将来的に2つの中学校が一つになるということも考えられるが。中学校同士の統合はあり得るのか。
→児童生徒数全体を見てやることになると思います。八向中学区については数年後に100名を切ることになります。新たな一貫校を建設するか、学校の適正規模も考えながら、地域の方と協議していかなければならないと思います。
- 今回の考えは、市で決めたものか。他の中学区の考えも示さなければならぬのでは。
→学校建築年数もあり、まずは明倫中学区を整備して、その後新庄中学区を整備します。日新中学校は大規模改修工事で当面の間持たせたい考えです。
- 学校建築の場所はどうなるのか。
→基本計画が策定されたときに決定されることになりますが、用地を新たに購入することを考えると、明倫中や沼田小の空いている校地を利用することが現実的であると思います。
- 今日の説明では、児童生徒数の動向や、萩野学園の成果、教職員アンケートなどデータが出されていないので、次回は準備してほしい。
- いろんな会に出てきたが、何回も同じことを言っている。将来の児童生徒数も出しながら身のある話し合いにしてほしい。
- 今日の説明会は市の方針を示して理解を得ようとしているのだろうか。次回は、いろんな資料を出して、意見を吸い上げてほしい。
→保護者や地域の方に理解していただけるような資料を準備します。
- 予算要求する時期はいつになるのか。
→現在のところ予算要求はされていませんが、皆様からご意見をいただき、方向性を決定した段階で予算要求を行っていく予定です。しかし、沼田小学校の建築も考えると、できるだけ早い時期に予算要求をしたいと考えています。
- 今日の話し合いについての内容を保護者や地域に報告してほしい。
→文書にて報告します。
- 沼田小学校が老朽化してきたから、北辰小学校が巻き添えを食った形だ。まだ、北辰小学校は100名以上いるので不信感を持った。
- ここにいる人たちは、北辰小学区に愛着があるので学校がなくなることについては寂しさと、沼田小学校の割を食ってしまう感じがする。
→今後は地区単位でも説明し、理解を得るようにしていきます。

お忙しい中、足下の悪い中お集まりいただきましてありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見については、次回に活かさせていただきたいと思います。今後とも皆様にご説明いたしながら、ご理解を得られるように説明の機会を設けてまいります。

明倫中学校区小中一貫教育校建設計画に係る説明会の結果内容について

1. 日 時 平成28年3月22日(火) 午後7時～午後9時
(小月野・月岡・梅ヶ崎・一本柳・中山・小泉地区)
平成28年3月24日(木) 午後7時～午後9時10分
(太田・荒小屋・高壇・北新町・北新町団地・中川原・野中地区)
2. 会 場 北辰小学校
3. 参加者 保護者・地域の方 19名(二日間の計)
4. 地域懇談会の日程及び内容
- (1) 開会
 - (2) 教育委員会あいさつ(武田 一夫 教育長)
 - (3) 説明
 - ①明倫中学区における小中一貫教育校(義務教育学校)整備の基本的な考え方について
(森 隆志 教育次長)
 - ②施設一体型小中一貫教育校「萩野学園」の現状について(長谷部 薫 学校教育課長)
 - (4) 質疑
 - (5) 閉会
5. 二日間にいたいたご質問やご要望等の主な内容
質問事項(○)、要望事項・意見等(□)、教育委員会の回答(→)

【3月22日の説明会の内容】

- 明倫中学校区の小中一貫教育校の建築を5年計画でやることを町内会総会で伝えてよいのか。
→今年度から基本設計を行い、その後校舎建築を行いたいと考えています。28年度にやれたとしても、最短で32年度に校舎完成と考えています。そのように伝えてください。
- 部活動はどうなるのか。
→他の中学校と同じように、中1(7年生)から中3(9年生)で行うことになります。
- 児童生徒数が減少する中で、これから就職する人たちが県外に出ていく。企業があれば出ていく必要もないのだが、萩野学園もいずれ少なくなっていくだろう。教育委員会として、流出対応としてどう考えるか。
→教育委員会としては、新庄はよいところであるということを教えていく「ふるさと学習」を充実して子どもたちを残す教育をしていきます。市としては、人口ビジョンや企業立地を考えています。本市では働く場所はあるが、そのことを親や子どももあまり知りません。教育の力で行うことと、政策として行うことをやっていこうとしています。特に女性の流出が課題となっていますが、できることから一つ一つやっていこうとしています。
- 萩野学園のよさもあるが、課題もあるはずだ。それを解決しなければならないのではないか。
→今の課題は、学力向上です。それを9年間を通して指導をしていきたいと考えています。
- 4-3-2のブロックでのリーダー体験はどうなっているのか。
→これまでの小学校6年、中学校3年の区切りでは、小学校6年でリーダーを、また中学校3年でリーダーを体験することが一般的ですが、4(前期ブロック)-3(中期ブロック)

－2（後期ブロック）の区切りでは、それぞれの段階でリーダー体験を行います。つまり、9年間で3回のリーダー体験を行うことで、しなやかでたくましい子どもを育ててまいります。具体的には、4の前期ブロックでは、4年生が中心となって一年生を迎える会を運営しました。また、4年生以下の委員会活動でも中心となって取り組んでいます。3の中期ブロックでは、5・6年生の部活動体験の時に7年生が関わることでリーダー体験を積ませてきました。2の後期ブロックでは9年生が児童生徒会の中心となって、よりよい学校生活を送れるように取り組んできました。「絆プロジェクト」という児童生徒会の取組みで、9年生が小学校児童の勉強を見るなどという取組みも行われました。さらに、運動会では4年生、7年生、9年生が中心となった応援合戦を行ったり、ブロック種目を行ったりして、リーダー体験を積ませてきたところです。

○開校するまで様々な議論を行うのか。

→萩野学園の時も開校まで議論してきましたので、そのようにしていきます。

○部活動とクラブ活動はどうなるのか。また、委員会はどのようにして行っているのか。

→萩野学園では部活動は中学生にあたる7年生から9年生が行っています。今年度は5・6年生が一定の期間を設けて体験部活動を行いました。クラブ活動は小学校学習指導要領に「年間、学期ごと、月ごとなどに適切な時数を充てるものとする」とされており、各小学校が適切な時数を定めて実施しています。萩野学園では4年生から6年生が行っています。部活動は中学校の教育活動、クラブ活動は小学校の教育活動ですので、それらが一つになって行われるということは萩野学園ではありません。また、萩野学園の委員会活動は、5年生から9年生で構成する「児童生徒会」の中で行っています。

○萩野学園の学力はどうなっているのか。

→現在、萩野学園でも学力向上を課題として取り組んでいますが、5・6年生の教科担任制や8・9年生の教科教室制などで、児童生徒の知的好奇心を高めながら学力向上に取り組んでいます。来年以降、成果が表れてくるのではないかと考えています。

○萩野学園で小学校と中学校が統合したことでの子どもの様子はどうか。

→萩野学園の場合は、「子どもたちが仲良くやっていけるのか」とか、「新しい環境に馴染むことができるのか」という保護者の方の不安がありました。特に昭和小学校が児童数が一番少ない現状でした。これらの不安を解消するために、小学校3校同士の交流や小学校と中学校の交流を計画的に行ってきました。子どもたちの様子や保護者アンケート結果などから子どもたちは仲良くやっていると捉えています。「学校が楽しい」というアンケート項目では、97%の保護者が「そう思う」と回答しています。萩野学園では100%になるように取り組んでいるところです。

○中1ギャップはあるのか。

→全国的な数値では、小学校6年生から中学校1年生に進む段階で、「いじめ・不登校・問題行動」などの件数が急増しています。また、中学校の学習や生活、部活動などに対する不安も高くなる傾向があり、そのような状態を中1ギャップと呼んでいます。

○授業時間はどうなっているのか。

→他の小中学校と同じように、小学校は45分、中学校は50分の授業時間となっています。

○セキュリティーはどうなっているのか。防犯カメラはあるのか。

→萩野学園では、安全対策として児童生徒玄関などは登校後に施錠しています。職員玄関にはインターфонを設置しています。職員室との応答後、解錠して中に入つもらうようにしています。また、防犯カメラは設置しておりません。

□何でも萩野学園がモデルということでなく、明倫中学区ならではの一貫校をつくってほしい。

→基本構想をつくったときに、「新庄市小中一貫教育基本計画」をつくり、2年間研究しました。それをもとにして萩野バージョンをつくりました。明倫中学区の小中一貫教育校も明倫バージョンをつくりたいと思います。ただ、小中の段差を緩やかにするために、4-3-2のブロック制をとって、5・6年生と中学1年生をつける形をとっています。

□沼田小学校では低学年が落ち着きがないということを聞いているが、それが不安だ。低学年

のうちから交流を行ってほしい。

→萩野学園でも1年生から交流活動を行ってきましたので、明倫中学区の小中一貫教育校が建設された場合でも同様に行っていきます。

□向陽幼稚園では、どの子も沼田小・北辰小の意識はないので、同じ意識になれるように交流してほしい。

→幼保小の連携も大切にして取り組んでまいります。

□同じ建物で9年間で生活できることはよいことだと思う。伸びるときに指導してもらえることが一貫校のよさであると思う。

□明倫中学校と新庄中学校は距離が近いのでトラブルにならないように努めてほしい。

【3月24日の説明会の内容】

○北辰小学校の現在の児童生徒数は何人か。また、今後の入学予定者数はどうなっているか。
→現在123人となっています。来年度以降の入学予定者数については、資料にありますように平成28年度は12人、29年度は22人、30年度は17人・・・となっています。

○統合になると北辰小学校で行ってきたイバラトミヨの学習はどうなるのか。

→萩野学園の場合でも、統合になった地区のよさも学ぶ「ふるさと学習」に取り組んでいますので、明倫中学区の小中一貫教育校が建設された場合でも、話し合いの中で話題にのぼってくるものと思われます。

○今年の北辰小学校の卒業式は感動的であった。やはり6年間の区切りは大切であると思う。なくしたくはないと思った。萩野学園では4-3-2の区切りの中で、どのような節目の行事を行っているのか。

→4の前期ブロックでは4年生で1/2成人式を行っています。3の中期ブロックでは7年生で立志式を行っています。2の後期ブロックでは卒業式を行い、区切りとしての行事を行っています。

○小中一貫教育の全国の取組状況や今後に動向などについては、どのようになっているのか。
→小中一貫教育に取り組んでいる自治体は、昨年度5月の文科省調査で約1割の自治体が取り組んでいます。(実施件数は1130件で全国の小中学校の約10%。また、実施市町村は211市町村で、全国の約12%) 学校の設置形態では北辰小・沼田小・明倫中のよう施設分離型(約78%)が多く、萩野学園のような施設一体型(約13%)は校舎建築のタイミングもあって、現時点ではそれほど多くありません。昨年11月に行われた全国小中一貫教育サミットでの情報によりますと、義務教育学校の設置予定について平成28年度はそれほど多くありませんでしたが、今後設置する予定である、または検討しているという市町村もあり、今後広がる方向にあると思われます。また、今回法改正が行われましたが、これは10年間に及ぶ小中一貫教育の実践と成果に背中を押された形で国が動いたということです。

○施設一体型と分離型とあるが、分離型で建設することは考えていないのか。

→分離型の義務教育学校になると、中学校には校長先生はいますが、小学校にはいなくなります。また、施設一体型の小中一貫教育校による成果が分離型よりも多く上がっていますので、市としては施設一体型の小中一貫教育校を建設することを考えています。

○沼田小学校の老朽化については誰もが分かっている。北辰小学校と沼田小学校を一つにして、明倫中学校も一つにするということは考えていないか。

→今回の法改正で、施設一体型の義務教育学校を建設する場合、明倫中も補助対象となります。そのため、施設一体型の小中一貫教育校を建設させていただきたいと考えています。

○萩野学園の成果と課題について説明があったが、実際はもっと大変だったのではないか。先生方の多忙化についてはどうか。

→萩野学園では、教職員人事配置に際して決まった教員数の他に加配教員をつけていただいている。また、市の個別学習指導員も配置して人的確保に努めています。また、教科担

任制を小学校から行っていることから、教材研究もその教科を行えばよいこと、教科によって先生が替わるので空き時間も確保され、比較的ゆとりを持って授業にあたっていただいている。

○今の北辰小の規模は先生方の頑張りによって目も届くし、手も届く。先ほどの保護者アンケートで「先生方が忙しすぎてもっと子どもに関わってほしい」という声があったが、市としての対策はどう考えているのか。

→先ほどお答えした内容にも含まれますが、まずはこれまで小学校・中学校で行われてきた学校行事を、小中一貫教育校の視点で精選していただくことと、教職員の確保、地域の方の応援による学校支援などを考えています。

○基本設計は平成28年度から行いたいということだが、北辰小学校への説明は今日で終わりということか。

→今日で終わりということは考えておりません。22日と24日の説明会の記録をお伝えして要望があれば地域に出向いて説明を行ってまいります。

○いじめが少なくなったということであるが、全国でもいじめの件数が多いと報じられている。1年生から9年生までが一緒にいることで、萩野学園では減っていると捉えてよいのか。

→1年生から9年生までが毎日一緒に生活していることで、様々なかかわりが生まれ、そのことで心が耕され、いじめの未然防止にもつながっていると捉えています。

○通学に関して、小中一貫教育校ができると、北辰小学校はバス通になるのか。

→国の基準はありますが、市の「安全安心通学プラン」に基づいて、市独自の基準を設定しています。その他に交通の危険性や防犯上の危険性も踏まえて検討してまいります。

□旧角川小中学校や旧肘折小中学校のデータもあれば説得力もある。

□新しい学校をつくるということでやっていけばよいだろう。

□地域から学校がなくなるということが北辰小学校で痛手である。

→萩野学園のように「ふるさと学習」などを通して地域に子どもたちが出ていったり、地域の方が学校に来ていただいたらしくすることを大切にしながら、地域と学校との結びつきを強めていきたいと思います。

□中1ギャップはどこにでもある。

□学校の危機管理は学校規模が大きくなればなるほど高くなっていく。

□4-3-2ありきではなく、9年間を通してよりよい区分を検討してほしい。

→萩野学園の時のように多くの方からお知恵をお借りして検討してまいります。

□あまりにも学校建築ありきではなく、どういう教育をするのかを考えてほしい。

□明倫中学区の子どもたちを大切にしたいという思いはみんな持っている。一旦学校をつくったら、失敗は許されない。そういう覚悟を持って取り組んでほしい。

□中1ギャップを出し過ぎることで小学校教育がしっかりしていない印象に受け取られる。そのようなことがないようにしなければならないのではないかと考える。

先日はお忙しい中、説明会にお集まりいただきましてありがとうございました。

皆様から頂戴した大変貴重なご意見は、今後に反映させて参りたいと思います。今後とも、お気付きの点等ありましたらぜひお聞かせください。

平成28年4月25日

明倫中学校区小中一貫教育校建設計画に係る説明会の結果内容について

1. 明倫中学校説明会

日 時 平成28年4月22日（金）午後4時20分～午後4時50分
会 場 明倫中学校
参加者 保護者 約120名

2. 沼田小学校説明会

日 時 平成28年4月23日（土）午後3時30分～午後4時10分
会 場 沼田小学校
参加者 保護者 約120名

3. 地域懇談会の日程及び内容

(1) 開 会

(2) 説 明

①施設一体型小中一貫教育校「萩野学園」の現状について

(齊藤 民義 学校教育課長)

②明倫中学校区における小中一貫教育校（義務教育学校）

整備の基本的な考え方について (荒川 正一 教育次長)

(4) 閉 会

5. 二日間にいただいたご質問やご要望等の主な内容

質問事項（○）、要望事項・意見等（□）、教育委員会の回答（→）

【明倫中学校】

○開校まで5年程度かかるということだが、具体的にはどのようなスケジュールになるのか。

→ 準備に1年、設計に2年、校舎建設に2年程かかる予定。今年から初めて、順調にいっても平成33年度4月に開校できるかどうかになる。その後もグラウンド工事等が入る予定です。

【沼田小学校】

○基本的に小中一貫教育には賛成です。その上で、早急な建設を要望しています。

5年程度かかるということだったが、平成32年4月の開校にはなりませんか。

開校までのスケジュールはどうなるか。

→ 保護者、地域の皆様からご意見を伺いながら、できるだけ早急な建設をして参りたいと思います。その上で、準備に1年、設計に2年、建設に2年程度係る見込みです。短縮できる部分はないか、今後検討しながら進めて参りたいと思います。

○できるだけ早く開校できるように頑張ってほしい。

→ 2つの小学校と1つの中学校が新しい学校になることをご理解いただきたい。また学区地域の皆様のご理解と市財政負担の2点を考えながら進めていくことになる。その上で、できるだけ早急な建設を考えていきたい。

○萩野学園の保護者からは、とてもすばらしいと言うことを聞いている。悪いことは聞いたことがない。ぜひ進めてほしい。ただ、萩野学園と同じではなく、明倫中学区独自のものを作っていてほしい。

→ 明倫中学校区小中一貫校建設に関しても、PTAの方や地域の方からもご意見を頂戴しながら、一つ一つ検討していくことになります。ぜひ、保護者の皆さんからもご意見を頂戴できればと思っていますので、よろしくお願いします。

先日はお忙しい中、説明会にお集まりいただきましてありがとうございました。
皆様から頂戴した大変貴重なご意見は、今後に反映させて参りたいと思います。今後とも、
お気付きの点等ありましたらぜひお聞かせください。

新庄市教育委員会教育総務課・学校教育課

